

高病原性鳥インフルエンザ発生時における防疫措置の見直し 及び地元生産者の支援に関する要望書

高病原性鳥インフルエンザが令和2年11月5日の香川県を皮切りに、17県50事例（2月15日時点）の発生が見られている。そうした中、千葉県においても、12月24日から立て続けに11農場での発生があった。中でも、衛生的に充実していると言われていた大規模で最新の養鶏場での発生に、県内生産者は戸惑いとともに戦々恐々としているところである。

発生した農場には鶏舎に小さな穴があるなどの何らかの不備があったのかもしれないが、本疾病の全国的な蔓延の原因は渡り鳥等野鳥であると推測される中、今季の発生は台風などと同様に天災と考えるのが妥当である。

つきましては、国民に低価格で良質なタンパク質を供給する産業に従事する者として、産業育成とその推進の観点から飼養衛生管理基準の運用と指導をお願いするとともに次の点について要望する。

記

- 1 発生農場および関連会社における従業員の雇用維持について
飼養再開までの間において農場従業員および運送などの関連会社の雇用維持を図るため、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う雇用調整助成金の特例措置のような助成制度の創設を願う。
- 2 移動制限及び搬出制限区域内の農場における家きん卵のGPセンターへの出荷について
10万羽の飼養を想定すると、1日当たり6トン前後の鶏卵が生産されている。通常の搬出用トレイでの貯蔵にも数的限界があり、廃棄するにも場所の確保が難しい（たい肥舎等鶏糞処理施設の受入れ量にも限界がある）。防疫指針においては、条件を満たせば県と動物衛生課との協議によりGPセンターに出荷することができるかとされているが、条件確認後の協議及び決定の1日も早い対応をお願いしたい。
また、国と県の協議については、口頭や電子メール等の対応で迅速に行ってほしい。
- 3 大規模養鶏場における発生時の防疫措置について
不眠不休で対応されている県職員、自衛隊員、国職員には感謝の意を表す。
しかしながら、5万羽も10.0万羽も同じ行政の体制の中で処理するには相当に無理があると思われる。
また、処分鶏の滅菌処理のために埋却して土に還せばよかった小規模な時代と異なり、現在は、周辺住民の環境意識も高く、自己所有地といえどもなかなか許されなくなってきた。廃棄物としての観点から合理的で安全な手法の早期開発を望むものである。
- 4 鶏病研究の充実について
今回の鳥インフルエンザの発生の仕方は、これまでと様子が大きく違ってきており、ウイルスの変異などが起こっていることも予想される。感染力や感染経路など鳥インフルエンザウイルスの性質や変異の傾向などを正確に知り、効果のある対策を講じていけるよう研究費を予算化していただきたい。

令和3年2月17日

農林水産副大臣 宮内 秀樹 様

一般社団法人千葉県農業協会
養鶏部会長 宮澤 哲雄



高病原性鳥インフルエンザ発生時における防疫措置の見直し 及び地元生産者の支援に関する要望書

高病原性鳥インフルエンザが令和2年11月5日の香川県を皮切りに、17県50事例（2月15日時点）の発生が見られている。そうした中、千葉県においても、12月24日から立て続けに11農場での発生があった。中でも、衛生的に充実していると言われていた大規模で最新の養鶏場での発生に、県内生産者は戸惑いとともに戦々恐々としているところである。

発生した農場には鶏舎に小さな穴があるなどの何らかの不備があったのかもしれないが、本疾病の全国的な蔓延の原因は渡り鳥等野鳥であると推測される中、今季の発生は台風などと同様に天災と考えるのが妥当である。

つきましては、国民に低価格で良質なタンパク質を供給する産業に従事する者として、産業育成とその推進の観点から飼養衛生管理基準の運用と指導をお願いするとともに次の点について要望する。

記

1 発生農場および関連会社における従業員の雇用維持について

飼養再開までの間において農場従業員および運送などの関連会社の雇用維持を図るため、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う雇用調整助成金の特例措置のような助成制度の創設を願う。

2 移動制限及び搬出制限区域内の農場における家きん卵のGPセンターへの出荷について

10万羽の飼養を想定すると、1日当たり6トン前後の鶏卵が生産されている。通常の搬出用トレイでの貯蔵にも数的限界があり、廃棄するにも場所の確保が難しい（たい肥舎等鶏糞処理施設の受入れ量にも限界がある）。防疫指針においては、条件を満たせば県と動物衛生課との協議によりGPセンターに出荷することができるが、条件確認後の協議及び決定の1日も早い対応をお願いしたい。

また、国と県の協議については、口頭や電子メール等の対応で迅速に行ってほしい。

3 大規模養鶏場における発生時の防疫措置について

不眠不休で対応されている県職員、自衛隊員、国職員には感謝の意を表す。

しかしながら、5万羽も100万羽も同じ行政の体制の中で処理するには相当に無理があると思われる。

また、処分鶏の滅菌処理のために埋却して土に還せばよかった小規模な時代と異なり、現在は、周辺住民の環境意識も高く、自己所有地といえどもなかなか許されなくなっている。廃棄物としての観点から合理的で安全な手法の早期開発を望むものである。

4 鶏病研究の充実について

今回の鳥インフルエンザの発生の仕方は、これまでと様子が大きく違ってきており、ウイルスの変異などが起こっていることも予想される。感染力や感染経路など鳥インフルエンザウイルスの性質や変異の傾向などを正確に知り、効果のある対策を講じていけるよう研究費を予算化していただきたい。

令和3年2月17日

自由民主党幹事長 二階 俊博 様

一般社団法人千葉県農業協会
養鶏部会長 宮澤 哲雄



高病原性鳥インフルエンザ発生時における防疫措置の見直し 及び地元生産者の支援に関する要望書

高病原性鳥インフルエンザが令和2年11月5日の香川県を皮切りに、17県50事例（2月15日時点）の発生が見られている。そうした中、千葉県においても、12月24日から立て続けに11農場での発生があった。中でも、衛生的に充実していると言われていた大規模で最新の養鶏場での発生に、県内生産者は戸惑いとともに戦々恐々としているところである。

発生した農場には鶏舎に小さな穴があるなどの何らかの不備があったのかもしれないが、本疾病の全国的な蔓延の原因は渡り鳥等野鳥であると推測される中、今季の発生は台風などと同様に天災と考えるのが妥当である。

つきましては、国民に低価格で良質なタンパク質を供給する産業に従事する者として、産業育成とその推進の観点から飼養衛生管理基準の運用と指導をお願いするとともに次の点について要望する。

記

- 1 発生農場および関連会社における従業員の雇用維持について
飼養再開までの間において農場従業員および運送などの関連会社の雇用維持を図るため、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う雇用調整助成金の特例措置のような助成制度の創設を願う。
- 2 移動制限及び搬出制限区域内の農場における家きん卵のGPセンターへの出荷について
10万羽の飼養を想定すると、1日当たり6トン前後の鶏卵が生産されている。通常の搬出用トレイでの貯蔵にも数的限界があり、廃棄するにも場所の確保が難しい（たい肥舎等鶏糞処理施設の受入れ量にも限界がある）。防疫指針においては、条件を満たせば県と動物衛生課との協議によりGPセンターに出荷することができることとされているが、条件確認後の協議及び決定の1日も早い対応をお願いしたい。
また、国と県の協議については、口頭や電子メール等の対応で迅速に行ってほしい。
- 3 大規模養鶏場における発生時の防疫措置について
不眠不休で対応されている県職員、自衛隊員、国職員には感謝の意を表す。
しかしながら、5万羽も100万羽も同じ行政の体制の中で処理するには相当に無理があると思われる。
また、処分鶏の滅菌処理のために埋却して土に還せばよかった小規模な時代と異なり、現在は、周辺住民の環境意識も高く、自己所有地といえどもなかなか許されなくなっている。廃棄物としての観点から合理的で安全な手法の早期開発を望むものである。
- 4 鶏病研究の充実について
今回の鳥インフルエンザの発生の仕方は、これまでと様子が大きく違ってきており、ウイルスの変異などが起こっていることも予想される。感染力や感染経路など鳥インフルエンザウイルスの性質や変異の傾向などを正確に知り、効果のある対策を講じていけるよう研究費を予算化していただきたい。

令和3年2月17日

自由民主党幹事長代理 林 幹雄 様

一般社団法人千葉県農業協会
養鶏部会長 宮澤 哲雄

